



今日からあなたも



船場ガイドブック
2016



今日からあなたも船場人 船場ガイドブック 2016

目次

- ようこそ 船場へ・・・1
- 船場の会館・・・2
- 船場MAP・・・11
- 船場のおすすめ・・・13
- 船場生活手帳・・・15
- 広告・・・17

ようこそ 船場へ

船場は、大阪の歴史的な中心部にあり、
太閤さんによってつくられた、古くて新しいまちです。
今も格子状の街路をそのままに
まちのそここに歴史が語りかける物語や
思いがけない多様なまちの営みを発見できます。
私たちは、船場が何度歩いても楽しいまちであることを
発見してもらえることを願って
毎年新たな気持ちでこのガイドブックを作っています。
今年も、船場で住み、働き、遊ぶ私たちが
一生懸命考えて作ったガイドブックを
お届けすることができました。
船場に関心のある人にもない人にも
まちに足を運んでいただけたら
そして、船場をもっと知ってもらい、存分に楽しんでいただけたら
とてもうれしく思います。
さあ、「今日からあなたも船場人」。
皆さんと一緒に
まちに出かけてみることにしましょう。

船場げんきの会
愛日地域活動協議会

船場とはどんなまち

船場の位置と特徴

船場は、キタとミナミの真ん中に位置して、北は土佐堀川、東は東横堀川、南は長堀通、西は旧西横堀川（現阪神高速道路）に囲まれた南北2.1km、東西1.1kmの約230haの区域をいいます。
かつて四方を運河に囲まれ、大阪城に通じる東西の「通り」を軸として発展、これに南北の「筋」が交錯する格子状のまちがつくられ、今もまち割りが残っています。
明治以降、堺筋や御堂筋等の拡幅により、人の流れは南北の「筋」が中心となりました。通りや筋の沿道には、現在も近代建築はじめ歴史的な建物が数多く見られます。

船場400年のあらし

船場は、豊臣秀吉による大坂城築城に合わせ、西側の砂州の埋め立てで生まれたまちです。
大坂夏の陣、明治維新、戦災と、船場は幾度も壊滅的被害を受けますが、その度に新たな人びとを惹きつけて蘇り、かつての伝統と融合して新しい時代の船場の魅力を創りだしてきました。

水運の拠点から商都へ

江戸幕府直轄地後、更に埋立ては拡大され、船場は水運の拠点となり、全国から人と富と情報を集積、大阪が城下町から経済都市に変容します。船場では金融・薬・繊維・雑貨卸など多くの問屋が繁栄します。

商都大阪の中心から町人文化の発信

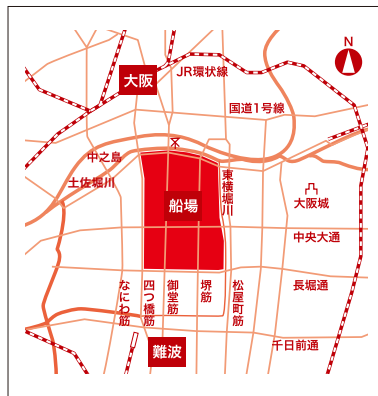
この間、近松門左衛門に代表される文芸・芸能はじめ、懐徳堂など多くの町人学者を輩出し、なにわ商人の誇りある町人文化が育まれ、継承されました。

近代化による大大阪へ

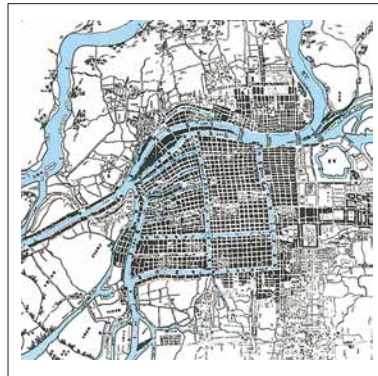
明治維新により、大阪の経済的基盤は壊滅的打撃を受けますが、その後急速に工業都市化し発展。大正期には「大大阪」と呼ばれる時代を迎え、モダンで最新の都市文化スタイルを創造しています。

キタにもミナミにもないまちへ

戦後の復興を支えてきた船場も、昭和40年代後半からの繊維不況や産業構造の変化で、かつての賑わいを失っていきました。戦前（昭和15年）には約6万人あった人口も、一時約4千人まで減りましたが、2014年以降、約1万人を超えるまでに回復してきました。屋間は約25万人が集中する業務都心に変わりありませんが、商業・業務機能の中心がキタとミナミへ集中するなかで、キタにもミナミにもない船場独自の存在価値がいま見直されています。



船場の位置



幕末から明治の大阪・船場（明治5年）

特集

「会館・倶楽部」から船場を読み解く

船場の 会館

船場を歩くと、あちこちに「〇〇会館」「△△倶楽部」と名の付いた建物を見かけます。

商いの中心地であった船場には、それぞれの業界に関連する会館や倶楽部が建てられてきました。

いくつかは現在もその役目を引き継ぎ担い

またいくつかは役目を終えて、名称だけを残している建物もあります。

そんな船場の「会館・倶楽部」を紹介します。

建物の歴史や成り立ちを知ること、より船場のまちを身近に感じていただけるでしょう。

船場の象徴「会館・倶楽部」

なぜ、船場には、こんなに多くの「会館・倶楽部」と名の付く建物が集まっているのでしょうか。

その背景は江戸時代まで遡ります。江戸時代は「天下の台所」として日本経済の中心は大阪にあり、また、その中心が船場でした。

船場は、通りや筋ごとに、今橋は両替商、伏見町は茶道具・唐物、道修町は薬種業、本町は古着・繊維、久宝寺は小間物、堺筋は砂糖など、問屋の集積がありました。

そして、米に関しては先物取引の堂島米会所、道修町には薬種中買仲間など幕府から特権的地位を与えられ、その後の近代につながる経済基盤が形成されました。

明治以降、大阪は大きな政治改革の中で一時衰退しますが、その後紡績をはじめとする産業の近代化を通して、昭和初期には「大大阪の時代」を迎えます。

この時代に株式取引所や商品取引所など新しい経済活動の基盤が形成されました。それとともに各分野で同業種組合の設立と、その象徴となる「会館・倶楽部」が生まれました。そしてその多くが船場に集中したのです。

さて、今や日本経済の東京集中や産業の国際化が進むなかで、同業種組合や「会館・倶楽部」の運営も変化を迫られています。その存在は、かつての大阪経済の力の象徴から、地域や市民に開かれた文化的象徴に変わっていくのでしょうか。船場の「会館・倶楽部」を訪れ、それが生きて活躍した往時の物語を見つめ、次の役割を想像してみるのも楽しいかもしれません。

大阪倶楽部

大阪倶楽部

中央区今橋4丁目4-11 **1**

建物の概要
設計：安井武雄
床面積：地上4階・地下1階 延床3,422㎡
構造：鉄筋コンクリート造
竣工：1924年 登録有形文化財

英国を範として、大大阪にふさわしい風格ある社交場として1912年に設立された会員制の社交倶楽部が「大阪倶楽部」です。1914年竣工の初代会館は、1922年に焼失しましたが翌年々に再建。当初より一業一派に偏しない様々な業種業態の経済人が集まることを理想として、今日までその伝統と格式が維持されています。



大阪倶楽部のあゆみ

1912年 大阪商業会議所の当時の会頭土居通夫など大阪財界の諸氏の呼びかけにより、「大阪倶楽部」を設立
同年 元日本銀行大阪支店跡地(現在地)を購入
1914年 大阪倶楽部会館(旧館)竣工(設計 野口孫兵衛 長谷部鋭吉 木造3階建 延床395坪)
1922年 旧会館焼失
1924年 現会館竣工
1945年 帝国海軍による徴用
終戦後は米軍GHQにより接収
1952年 接収解除
1953年 会館の修復工事をを行い、倶楽部再開
2011年 公益社団法人から一般社団法人に移行



旧大阪倶楽部会館



竣工写真

事務局長 岸本晴夫さんが案内する大阪倶楽部

安井武雄の名建築

安井武雄の「自由様式」ともいわれる作風の名作で、全体としては軒の出ない寄棟造の塊のようなどっしりした造形ですが、細部には「東洋風」や「南欧風」の意匠が凝らされています。旧館の焼失、関東大震災(1923年)の災禍があったことから耐震耐火を重視した設計で、窓に鉄扉も付いています。1～2階は会員専用の空間で、1階には囲碁将棋室、ビリヤード場、喫茶・酒場、2階には会員食堂、談話室、図書室があります。



岸本晴夫 事務局長



大阪倶楽部正面

紳士だけの倶楽部

欧米では紳士たちがくつろげる場所として社交倶楽部が発達し、会員は男性だけでした。近年は、女性に門戸を開放している倶楽部もありますが、大阪倶楽部は、現在も会員は男性のみ。同伴での会館利用はできますが、会員専用の1階、2階フロアは今でも男性のみの利用となっています。

今もビリヤードは盛ん

社交倶楽部には、①ダンスができる大広間、②自前の食堂とともに、③ビリヤードが必須とされてきました。ビリヤード台は、接収時に一部失われましたが、会員である加賀正太郎氏の大山崎山荘から、1917年英国で世界選手権の決勝戦で使用されたとされる由緒ある台が寄贈されました。3～4階は、貸会議室、ホールとなっています。

3000回続く午餐会

定例の活動として水曜日に午餐会が行われています。食事の後、各界の著名人や話題の人物の講演を聴く会です。GHQが撤収した1952年以来続く活動で、これまでの実施回数は3000回を超えており、この講演会を目的に大阪倶楽部に入会を希望する人も大勢おられます。

人気メニューはタンシチュー

会員食堂の人気メニューはタンシチュー、料理人は変われど味の伝統は引き継がれています。この食堂や談話室は、大阪にゆかりの著名画家の絵画で飾られています。これらはすべて会員の寄付によるものです。

梁とハンチに特徴の会議室

各部屋の梁とハンチ(梁と柱の接合部で断面が大きい部分)のデザインが異なるのが特徴でどれ一つとして同じ室内装飾はありません。

会館の開かれた活動

2011年一般社団法人に移行したことを契機に、3～4階の会議室、ホールでは、咲くやこの花文化イベント、館内見学会、公開講演会など、より地域に開かれた文化的活動を行っています。また、土曜、日曜日は結婚式の利用もできます。

見学

2カ月に1度、奇数月の土曜に一般向けに館内の見学ツアーが開催され、昼食付きと見学のみの2種類のコースがあります。見学のみの無料で、最初の30分は会館に関する話を聞き、その後約30分かけて館内を見て回ります。詳細はウェブサイトで確認してください。URL:http://www.osaka-club.or.jp



談話室とビリヤード場



午餐会風景



梁とハンチ



ホールでのコンサート

綿業会館

中央区備後町2丁目5-8 **2**

建物の概要
本館
設計：渡辺節(主任設計技師:村野藤吾)
床面積：地上6階・地下1階 延床6,046.05㎡
構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 竣工:1931年 重要文化財
新館
設計：渡辺節 床面積：地上7階・地下1階 延床6,837.83㎡ 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 竣工:1962年



綿業会館のあゆみ

1928年 日本綿業倶楽部発足(東洋紡専務岡常夫氏の遺贈金(100万円)と綿業関係者(50万円)により設立)
1929年 会館建設用地(大日本紡績跡地)を決定
1931年 12月竣工し、翌1932年1月1日開館(同年、市民の寄付(150万円)で大阪城天守の再建及び周辺の整備が行われた)
1932年3月 国際連盟満州事変調査団リットン卿一行が来館大阪経済界代表と会談
1934年～44年 海外からの視察団が相次ぐ
1945年 会館の1～2階を大阪師団管区司令部に提供し倶楽部は休会
終戦後、米軍GHQが接収
1952年 接収解除
綿業会館を修復し業務を再開
1962年 新館増築完成
2003年 文化庁より本館が重要文化財に指定される
2012年 日本綿業倶楽部は、社団法人から一般社団法人に移行



竣工写真

事務局長 槇島昭彦さんが案内する綿業会館

日本綿業界の迎賓館

綿業会館は、設計者の渡辺節が海外で視察した最先端の建築技術を実現したものであり、鉄骨鉄筋コンクリート造り、セントラルヒーティング、エレベーターなどが設置され、フランスから輸入された最新の耐火ガラスの採用で戦火にも耐え、今日に生きています。さらに、綿業会館の特徴はあたたかく、やわらかなコロニアルスタイルの外観と、その内部の豪華さにあります。訪れる人の好みに合わせて利用できるようにとの配慮から、館内は部屋ごとに特徴あるスタイルで装飾されています。

渡辺節が注力した談話室

本館3階の談話室は17世紀イギリスルネッサンス初期のジャコビアン・スタイルです。吹き抜け天井とタイル・タペストリーのある最も豪華な部屋です。ここは、設計者の渡辺節が最も力を注いだところで、後日、次のように記しています。「内外部の設計を通して一番苦心したのは談話室であって、(中略)設計が一応おわってから、さらに1カ月の期間をもらい、



槇島昭彦 事務局長



イタリアルネッサンス調の玄関ホール



談話室

設計を変更して2、3階を打ち抜くことを考案して出来上がったものである。タイルも一枚一枚全体のコンビネーションを考え助手を使わず私一人でこつこつと仕上げた。『日本綿業倶楽部五十年誌』

趣向が凝らされたデザイン

本館3階の貴賓室と呼ばれる特別室は18世紀イギリス様式のクイーン・アン・スタイルで、直線的な窓や壁に対して、天井・家具などの曲線がうまく組み合わせられています。

本館3階の通称「鏡の間」といわれる会議室は、19世紀フランス様式のアンピール・スタイルです。天井、壁、開口部の装飾をおさえたデザインが特徴です。床石はアンモナイト化石が入った天然石です。

本館1階の会員食堂は、ミューラル・デコレーションの装飾天井や透かし彫りのガラス窓にシャンデリアと豪華。フロアは入口より数段低く、立体的な空間となっており、披露宴やパーティ会場としても利用されています。

今も人気はカレーライス

他に地下グリル、各貸会場の横にも厨房があり、単品料理からフルコースまで提供可能です。また、カレーライスとオニオングラタンスープは開館当初からの味を受け継ぎ今でも人気のメニューです。

結婚式

会員家族の挙式は、以前から行っていたですが、会員以外でご希望なさる皆様の挙式と披露宴を1日1組限定で、数年前から実施しています。特別室や談話室で写真撮影など建物全体を使った綿業会館ならではの結婚式は非常に好評です。

見学

毎月第4土曜日に有料にて見学会が行われており、食事あり(会場は特別管理の部屋の一つである会員食堂)と食事なしのコースがあります。詳細はウェブサイトでご確認ください。URL : http://www.mengyo-club.jp/

お知らせ

10月7日 18:30～ 「まちダネ」連載記者と語る船場
講演：船場への回帰 大峯伸之(朝日新聞記者)
船場トーク：記事に登場した方々と共に
10月8日 13:30～ 船場まつり 講演と講演の会
講演：文化人としての淀屋 蒲田建三
講演：『大坂の陣』真田幸村の戦い 旭堂南青

大阪美術倶楽部

中央区今橋2丁目4-5 **3**

建物の概要

設計：本館（西館） 彦谷建築設計　本館（東館） 安井設計室　新館 大林組
床面積：本館（東館・西館）地上4階 地下1階 延床 2,764.25㎡　新館 地上3階 延床2,345.11㎡ 駐車場 地上2階 延床 1,475.51㎡
構造：本館　鉄筋コンクリート造　新館・駐車場　鉄骨造　竣工：本館（西館）1965年（東館）1981年　新館2009年

大阪美術倶楽部のあゆみ

1891年頃	大阪在住の美術骨董商を中心に「大阪商盛組」を結成 書画骨董類の入札会及び交換会を行う
1910年	入札会や交換会の会場運営を行うため組合員により「株式会社大阪美術倶楽部」を設立
1911年	淡路町4丁目（現3丁目）に2階建の純日本家屋を建設
1929年	御堂筋拡幅に伴い一部用地が買収され建物改修
1935年	25周年記念名宝展並びに記念茶会を開催（鴻池・大原・根津御三家の名品を展覧）
1945年	大空襲により被災
1947年	旧鴻池本宅（現在地）の土地家屋を購入し、淡路町の土地を売却
1951年	戦後最初の入札会を開催
1960年	50周年記念名宝展並びに記念茶会を開催（国宝8点、重要文化財16点など124点を展列）
1965年	西側土蔵を取り壊し、地上3階地下1階延350坪の新社屋（西館）を建設
1980年	長屋門を美術愛好家が奈良市富雄に移築
1981年	地上4階地下1階延470坪のビルを増築（東館）
2009年	旧鴻池本宅の部材を活用して、地上3階建の新館が完成
2010年	創立100周年名宝展並びに記念茶会を開催



移築された鴻池本宅長屋門

元取締役 太田眞一さんが案内する大阪美術倶楽部

大阪美術倶楽部に生きる旧鴻池本宅

戦前、淡路町にあった大阪美術倶楽部は、被災により、1947年に旧鴻池本宅の土地建物を購入しました。長らく入札・交換会会場として利用してきましたが、建物の老朽化に伴い段階的に建物を改修、2009年に建て替えを完了しました。各部屋や庭に、旧鴻池本宅が復元されています。

扇の間・鴻の間（新館1階）

旧鴻池本宅の本広間を復元した部屋で、欄間、襖、床脇の棚戸などの細部に扇がモチーフとして使われています。また、庭への降り口には永楽正全（明治中期）作による扇の焼物が敷かれています。



扇の間



扇のモチーフ



欄間・襖



庭の降り口



松筠亭



大広間の書画展



競り場

名品展並びに茶会

節目となる年には、名品を展示して記念茶会が開催されています。25周年には、鴻池・大原・根津家の名品を一堂に展覧し、記念茶会が開催されました。料理が必要とされる場合は、料理人が出張し、美術倶楽部の厨房（食堂）を利用して、料理が提供されます。

見学

美術倶楽部の建物見学会は行われていませんが、定期的に開催される展示即売会などで、建物内を見ることができます。

大美特別展（展示・販売）

大阪美術商協同組合と大阪美術倶楽部の協同で3年に1度開催される美術商による展示・販売会で、2016年は2月に行われました。

大美アートフェア（展示・販売）

大阪美術商協同組合主催の美術商による展示・即売会で、2014年に続き、第2回が2017年2月に開催予定です。

大美落語会

年に4回、和室大広間で開催されており、和服姿のお客も多く一味違った雰囲気 で落語が聞けます。

その他

その他、部屋貸し事業で、呉服展示、茶会、お花展示、書道展などの催事などにも利用されています。

しょういん

松筠亭（新館1階）

室町時代の古灯笼はじめ、敷石はそのままに茶庭を隔てて、茶室「松筠亭」があります。江戸時代からの鴻池邸の庭を生かして、1947年に鴻池本邸の隠居所であった所にできました。「松筠亭」は、もとは鴻池家の「軒号」です。

大広間

書画展、美術工芸展などに適する大広間や、文化、芸能催事にも利用される舞台を備えた部屋が本館各階にあります。

入札会と交換会

美術商協同組合の主要な行事として交換会と入札会があります。交換会は、組合員である美術商の間で行われる競りによる取引で、一般公開はされていません。年に22回（2回/月）行われています。入札会は、美術商（札元）を介して一般の方が札入れを行い、入札結果は公開されるものです。戦前には財閥の財産整理など入札会（大売立）が開かれていましたが、近年、大きな入札会は行われていません。

船場の会館

まち全体がくすりの「会館」

道修町

中央区道修町

道修町は豊臣秀吉の時代にはじまり、その後くすりの町として発展しました。現在でも道修町には、くすり関連産業が集積しており、まるでまち全体がくすりの「会館」であるかのようです。そして、薬業界を象徴する「会館」として考えられるのは、くすりの道修町資料館や少彦名神社でありこれらを中心とした活動が道修町のあり方に影響を及ぼしています。

少彦名神社 **4**

道修町2丁目1-8

1780年（安永9）に京都五條天神宮から少彦名命（日本医薬の神）を当時の寄合所（現在地）に招き、小さな祠を建てて神農さん（中国医薬の神）とともにお祀りしています。例大祭（神農祭）は、大阪の1年を締めくくる「とめの祭り」として賑わい、大阪市無形文化財に指定されています。薬業関連の企業で組織される「薬祖講」が祭りの運営に携わっており、神社を中心とした「倶楽部」のようです。神社に併設している「くすりの道修町資料館」では、道修町の歴史について紹介しています。



少彦名神社



少彦名神社 本殿

くすりの道修町資料館 **4** 深澤館長に聞く道修町の歴史

道修町の成り立ち～江戸時代

1585年（天正13）頃、豊臣秀吉が東横堀付近（道修町1丁目辺り）に中国からの貿易商を集めたのが道修町の始まりと推測しています。そして江戸時代初期1635年（寛永12）に堺の商人小西吉右衛門が道修町1丁目に薬種商を開いたことがくすりの町、道修町の始まりです。道修町がくすりの町として世に知られるようになるのは享保の改革以降です。幕府は1722年（享保7）に道修町薬種屋仲間（のちの薬種中買仲間になる）124軒を株仲間とし、諸薬種を検査して独占的に販売する特権を与えました。薬の品質が人々の健康に係わるものであり、それを見定めるには知識と経験が必要であったことがその背景にあります。



薬種中買仲間人数帳 1791年（寛政3） くすりの道修町資料館内部

明治～昭和

西洋薬が主流となり、株仲間は明治政府によって廃止されました。株仲間の流れは大阪薬種卸仲間組合に引き継がれ、そして道修町薬業関係者によって崇敬者団体「薬祖講」が組織されました。これが近代の「倶楽部」にあてはまると考えられます。当時の輸入品には粗悪品もあったため、道修町の薬業者たちは1888年（明治21）に品質検査を行う大阪薬品試験会社を設立、薬学の知識も必要となってきたことから1886年（明治19）道修町2丁目に大阪薬舗学校、1904年（明治37）道修町3丁目に大阪道修薬学校を



設立しました。その系譜は大阪薬科大学や大阪大学薬学部につながっています。1914年（大正3）に第一次世界大戦が勃発すると薬品の輸入が途絶えたため、製薬企業は自前の技術を開発させました。昭和30年～40年の道修町は活気にあふれていました。昭和40年代後半には、独自の新薬を開発する努力の成果が現れるようになり、戦後の高度成長において道修町は、大いに発展し、大阪経済を支える産業集積の一つになっていきました。

現在から将来

現在では道修町の薬業関連会社の数が少なくなりましたが、道修町の業界集積効果はこれからの時代で発展するための「温故知新」といえます。そして、これまでの歴史から道修町は一目置かれており、会社の所在地が道修町ということになると信頼度が上がるといえます。将来も道修町は「薬祖講」を中心として結束は続くと思います。

大阪薬業クラブビル **5**

伏見町2丁目4-6

大阪薬業クラブは、1948年6月社団法人として発足し、業界関係者の情報交換、親睦を深める場を提供してきました。この建物をリニューアルした際、当時少彦名神社社務所ビルにあった業界団体の事務所が同ビルに移転しました。今では大阪薬業クラブの他、大阪医薬品協会、大阪医薬品元卸商組合、大阪化学工業薬品協会、大阪府医薬品卸協同組合、大阪生薬協会、大阪食品衛生協会、大阪家庭薬協会の事務所があります。



大阪薬業クラブ

道修町ミュージアムストリート（入館無料）

くすりの道修町資料館 **4**　塩野義製薬本社展示コーナー **6**
田辺三菱製薬史料館 **7**　大日本住友製薬展示Gallery **8**　杏雨書屋 **9**

道修町の製薬会社等が協力し道修町に点在する資料館等を連携させて、道修町ミュージアムストリート宣言をしました。各施設では、道修町の歴史や文化、薬に関するさまざまな資料や写真、道具類などを展示・無料公開しています。歴史のある「くすりの町」で、あなたの知らない船場を発見しませんか？

道修町ミュージアムストリート
https://www.mtpc-shiryokan.jp/map/



お知らせ

11月22日、23日　少彦名神社　神農祭（例大祭）

本町通周辺 繊維のまちの 結社と会館

本町通周辺は、江戸時代の呉服問屋に始まる「関西五綿・船場八社」を筆頭に大小の繊維問屋が軒を連ねていました。

戦後の厳しい国内外の競争時代に、繊維問屋・小売商などの輸出入関連企業、化繊、毛織物、小売などの同業組合が多数結社されました。

組合活動拠点、組合員の交流のため、昭和30～40年代に多くの会館が建設され、会員間・内外交流と施設運営を強く意識した会館も現れました。

輸出繊維会館

備後町3丁目4-9 **10**

建物の概要

建築主：株式会社輸出繊維会館
（1958年設立）
設計：村野・森建築事務所
大阪建築事務所
床面積：地下3階、地上8階、塔屋3階
延床15,165.95㎡
構造：鉄骨鉄筋コンクリート構造
（鉄骨：高張力鋼）
竣工：1960年
1962年第3回優良建築賞
（財団法人建築業協会）受賞



外観

輸出繊維会館の歩み

戦後の民間貿易の再開に伴い繊維分野の国際貿易摩擦が高まりました。1952年、輸出入秩序維持のため輸出入取引法（現・輸出入取引法）が制定され、綿糸布・絹化繊などの5輸出組合（のちに統合）が設立され、輸出調整を始めました。各組合及び関係団体の事務の拡大に伴い事務所スペースの不足解消と連携の緊密化のため、共同会館設立の構想が持ち上がり、1957年に通商産業省輸出繊維課長と各組合理事長との会合で正式に構想が提起されました。1958年には株式会社輸出繊維会館設立総会が綿業会館で開催されました。株式会社輸出繊維会館は、直ちに建設用地の取得、建設委員会の設置、建築基本計画立案と事業を進め、村野・森建築事務所、大阪建築事務所に設計を委嘱しました。会館の資本金は9億2,025万円で、当時の原棉・原毛の輸出リンク制度による輸出業者による外貨割り当てに応じ、各組合に積み立てられた輸出振興資金の中から捻出されました。総建設費は用地取得費を含め、約11億2000万円を要したと記録されています。

繊維問屋のまちの輸出繊維会館

輸出繊維会館は、同じ備後町通の綿業会館と深い関わりがあります。上記の株式会社設立総会の開催のほか、綿業会館でメーカー・アパレル企業の決算会見が行われれば、輸出繊維会館では繊維系商社の決算会見が行われます。一方、設計者・村野藤吾（1891～1984）は、綿業会館の設計者・渡辺節のもとで設計主任として実設計を担当し、30年の後に輸出繊維会館を設計しています。

建築・輸出繊維会館の魅力

輸出繊維会館は、船場地区にある村野藤吾の作品として、フジカワ画廊 **11** や森田ビルディング **12**、旧東京銀行大阪支店 **13** などとともに知られています。

外壁は白亜の大理石（トラバーチン）と角の丸いアルミ窓の箱型ビル。会員専用の会館とテナントオフィスとゾーニングされ、それぞれ専用のエントランスが外観に表れています。1階が壁面と入口だけなのは、会館ゾーンの地下ホール等に高い天井高を確保したことによります。西面の会館ゾーン入口には、特徴的な庇があります。南面オフィスゾーン玄関扉越しに、玄関ホールを彩る日本画家・堂本印象によるモザイク画や、現場で職工と作り込んでいったという階段手摺りの曲線美を、うかがうことができます。



オフィスゾーン玄関ロビー

見学

通常非公開

「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2016」でガイドツアー（要申込）があります。

詳しくはウェブサイトで確認してください。

イクフェス2016

検索

海外貿易活動にふさわしい、格調高い会館

輸出繊維会館は、繊維交易企業の交流・商談の場として、格調と象徴性を有しています。1階会館専用の玄関から、中地階に降り、クロークのあるロビーを経て、前室、主要会議室・ホールに至ります。地下2階には特別食堂もあります。会議室・ホールの配膳・サービスはパントリーによって目立たず行なえます。内装は、足音を消す毛足の長い絨毯、朴（ホオ）・ウォールナットの壁が時にうねり、村野デザインの藤家具などとともに静謐ながらエキゾチックな空間をつくっています。圧巻は、オフィス玄関と同じ堂本印象原作・龍村平蔵製の綴錦が張り詰められた前室の壁面です。



ホール前室



地下ロビー

建築家・村野藤吾と建築写真家・多比良敏雄

村野藤吾は、建築設計・施工過程と同様に、建築写真についても強いこだわりをみせ、納得がいくまで建築写真家に何度も撮り直しを命じたことで知られています。村野作品を最もたくさん写真撮影したのは、建築写真家・多比良敏雄（1911～1983）だといわれています。多比良が撮った村野の作品は、1928年から1983年の56年間に亘り86建物2731枚の写真が確認されています*。右の写真もそのひとつですが、堂本と村野の共作による階段の躍動感を見事に表現した、多比良を加えた三者のコラボレーションともいえます。



オフィスゾーン階段見上げ
撮影：多比良敏雄

※奥山智子「建築写真家・多比良敏雄と村野藤吾の建築」（京都工芸繊維大学美術工芸資料館・村野藤吾の設計研究会「村野藤吾設計図展カタログ5 2003」）

大阪化学繊維会館 **14**

（現・アーク瓦町）

瓦町4丁目6-8

1948年 日本化学繊維協会設立
同年 大阪事務所開設（北区京栄町）
1966年 「大阪化学繊維会館」が竣工し
大阪事務所が移転
2011年 大阪事務所が「綿業会館」に移転



「竣工記念 株式会社大阪化学繊維会館」より

大阪毛織会館 **15** 淡路町2丁目6-10

1966年竣工、財団法人大阪毛織会館

第一生命・大織会館ビル **16** 備後町1丁目12-3

1988年竣工、大阪織物小売商協同組合

大いより大織健保会館 **17** 瓦町2丁目6-9

1994年竣工、大阪織物商健康保険組合、協同組合関西ファッション連合会

地域再生をめざす

中船場の会館

本町通以南の中船場は、かつては家具、小間物、装身具などの業種が集積していましたが戦後になって繊維関連の問屋が増加し、特に現金持ち帰り制の卸売、いわゆる「現金問屋」化が進みます。さらに、井池筋周辺では、コマ割の共同販売所と呼ばれるテナント方式が生まれ、多くの繊維業者で賑わいました。背景には、郊外化が進み、郊外の小売店を相手の問屋が増えたことが影響していたようです。繊維集積が、紡績貿易や商社化へ進んだ本町周辺以北と異なる発展をします。近年は小売化、マンション建設も進み、会館を中心に新たなまちの再生への取り組みが始まっています。

どいけ井池繊維会館 **18**

久太郎町3丁目1-16

建物の概要

床面積：地上3階・地下1階
延床638.00㎡

竣工：1922年

戦前の井池筋は家具問屋などが集まるまちでしたが、焼け野原になった戦後は、繊維問屋街として生まれ変わります。井池繊維会館もその一つで、戦後もない1949年に地域の商業者が資金を出し合って株式会社井池繊維会館を設立。焼け残った大正時代に建てられた元愛国貯蓄銀行のビルを取得し、繊維問屋ビル、大阪井池卸連盟の拠点として活用してきました。しかし、近年は空室も増えて、2016年春に再びリノベーションを行ないました。



当時の井池繊維会館



井池繊維会館2階の内覧会



壁面の汚れをあえて残して
取り付けた井池繊維会館のプレート

井池繊維会館代表・木戸一夫さんに聞く「井池筋のまちづくり」

リノベーションでは、建築当時の雰囲気を残すようにし、ビルの3階には、プロダクト・空間デザイナーが入居して、ギャラリー的な空間活用を提案しています。2階について

は、当面はテナントを入れずに、新しい人たちが井池と出会うイベントスペースとして利用し、厨房設備付きの屋上は、テナントだけでなく、地域の人々の憩いの場として使えるようにする予定です。さらに、ここを拠点に周辺の空き室のあるビルのオーナーにも呼びかけて、学生や起業を目指す人がトライできる場として提供することで、まちに活気を取り戻したいと考えています。

大阪船場井池筋連盟

1954年に設立された「井池問屋街協同組合」を引き継ぎ、1989年に「大阪船場井池卸連盟」が発足。1993年には通りの名称を「船場・井池ストリート」とし、アーケードを撤廃するなどまちのイメージ刷新に取り組んできました。しかし、社会経済環境の大きな変化の中で、卸のまちから小売店舗、飲食店舗が増え、2014年には団体名から「卸」の字を取り「大阪井池筋連盟」に名称を変更し、井池繊維会館を拠点にまちづくりに取り組んでいます。

OSKビル **19**（元大阪繊維共同販売所）

OSKビルは、戦前は家具製造業を営んでいましたが、戦後初めての共同販売所へと業態展開を図ります。（右の写真が当時の姿で、奥に見えるのは同時期に生まれ変わった井池繊維会館です）共販所とは、1つの建物の中に卸売業者が「コマ」（小さな場所）を借り、営業する「テナント」方式です。比較的小資本で



戦後間もない頃の井池筋

も卸売活動が可能なため、零細卸売業者による現金持ち帰り制の現金問屋の開業が容易に行えました。

OSKビルも、繊維業者が多く集まり、最盛期には常に空き待ち状態の賑わいでした。近年は空室も増え、2014年に新たなテナントを誘致するため、再びリノベーションを行いました。現在はボルダリングジムやオーダーメイドシューズなどユニークなテナントも導入、まちの変化に対応しながら、まちづくりを進めています。



OSKビル内部

お知らせ

10月8～9日 11時～ 井池・カレーとスパイスの潮目
カレーの販売とスパイス料理のワークショップ
会場 井池繊維会館1階・大阪カレー会館

大阪久宝寺町卸連盟会館 **20**

南久宝寺町1丁目5-15

建物の概要

建築主：協同組合大阪久宝寺町卸連盟
地上3階 鉄骨コンクリート造 竣工：2014年

江戸時代から続く小間物のまち南久宝寺町は、戦後、問屋の新旧交代により町の様子が一变します。変化に対応するため、既存の組合や町会連合会などを包括する「協同組合大阪久宝寺町卸連盟」を1962年に設立。翌年堺筋に初代の会館ビルを建設し、機関紙の発行、仕入決済システムの導入などの事業運営を行ってきました。また、会館竣工当初から、まちで働く従業員のために華道、茶道、囲碁、将棋などの文化・教養講座も開かれていました。



大阪久宝寺町卸連盟会館 外観

事務局長 松崎郁子さんに聞く「地域密着型の活動拠点として」

現在の会館は2代目です。初代と比べるとコンパクトになりましたが、事業やイベントを積極的に企画して、組合員さんだけでなく、地域の方々にも愛される場所を目指しています。1階の「BOBCAFE（ポップカフェ）」という小さなカフェは、喫煙スペース有、食べ物持ち込み可という、気軽にのんびりできる場所として徐々に地元の人たちに知られるようになっています。



卸連盟会館1階のカフェ

大阪婦子供服会館 **21** 久太郎町2丁目3-15

1968年 竣工

竣工当時は、婦人ものの既製服が一般化していった頃。現在は、協同組合関西ファッション連合所有のテナントビル。

船場中央ビル 大阪塗料会館 **22** 久太郎町1丁目8-9

1970年 竣工

塗料生産量が急激に伸びた時期に建設。改修を経て現在は一般企業のテナントビル。

鉄鋼会館 **23** 北久宝寺町3丁目5-12

御堂筋本町アーバンビル11階
鉄鋼金属業界が多い西区から、2012年に船場地区に移転。

特織会館 **24** 久太郎町1丁目6-15

業界の隆盛ぶりがうかがえるエントランスの展示。

南船場の会館

南船場は、繁華街・心斎橋に隣接し、夜市で賑わう新町遊郭への経路として高級な食材（砂糖など）や繊維以外の衣服・身の回り品の問屋、また金物問屋が集積しました。金物はかつての住友銅吹所や刀鍛冶の鍛冶屋町が背景にありましたが、昭和40年代に東大阪市に集団移転しました。こうした身の回り品や砂糖の卸・有力小売商、製造業者による同業組合や取引場所として、会館がつけられました。今日では、こうした会館に繁華街にはない個性的なショップやスタジオ・メーカーが集積しています。

大阪写真会館 25

南船場2丁目7-14

建物の概要
建築主：株式会社大阪写真会館
地上6階・地下1階 鉄筋コンクリート造
竣工：1963年

6軒もの中古カメラ店が入居し、プロ・アマのカメラ好きが足繁く訪れています。外観は、横のラインが強調された端正なモダンデザイン。内部は、1階ホールの写真機材のディスプレイ、腰窓のガラスブロックが目を引きます。

手島隆太郎氏（大阪写真材料商業組合）に聞く大阪写真会館

組合事業が本格化した大正期には、写真材料の需要先は、大阪には約80軒しかなかった写真材料商でした。組合員が扱う写真材料には、カメラから現像、印画紙、薬剤などすべての写真材料を含みます。かつてはA～Zまでの頭文字のつく数のカメラの名称がありました。

1946年に大阪組合が再出発、平野町の組合長宅を事務所として利用していましたが、組合員の集会や交換会に使える施設として、以前に買収したビルを1962年に6階建てビルに建て替えました。写真会館にできてから、ママヤ、敷島写真用品、ニコンなどが入居しました。写真会館ができてから、会館の周りに写真材料の問屋が集まってきました。1970年頃までがカメラ販売の最盛期で、現在は業界売上での小売店の地位は大きく低下しました。2015年に建物と株式会社の株を現所有者に売却しました。

砂糖会館ビル 26

～塩町に建つ砂糖業界ビル

南船場2丁目10-12

建物の概要
建築主：株式会社大阪砂糖会館
床面積：地上7階・塔屋1階 延床1747.33㎡
鉄筋コンクリート造
竣工：1990年

江戸時代から大阪は砂糖の一大集散地であり、砂糖問屋が堺筋に集積していました。その後、業界の中心は塩町（旧町名）へ移行しました。1925年には、全国に先駆けて会員組織の大阪砂糖取引所が塩町2丁目に開設されるなど、砂糖のまち・塩町は大いに賑わいました。戦後は組合事務局、砂糖取引所とも、農林会館を経て再出発しています。1959年には砂糖業界の活動の拠点と事業発展に貢献するため、旧砂糖会館ビルが竣工、1990年にはテナントビルとして現在の砂糖会館ビルが建設されました。砂糖会館ビルを拠点にして、業界の商権擁護活動を「関西砂糖特約店協同組合」が行い、会員親睦活動を「大阪砂糖問屋組合」が行っています。

大阪かばん会館（鞆囊會館） 27

南船場1丁目13-8

建物の概要
建築主：株式会社大阪鞆囊会館
地上3階 鉄筋コンクリート造
竣工：1954年

心斎橋に近い南船場には、洋装の雑貨・小間物を扱う卸・小売商が多く立地しています。1886（明治19）年に大阪鞆革具製造組合が創立され、1949年に大阪鞆協会の前身となる組合が設立されました。昭和以降、南船場では洋装の雑貨・小間物を扱う卸商が増えてきました。現在、大阪府鞆卸商業組合、大阪府鞆工業組合とともに、卸、製造、資材など関連分野が集い、かばんの技術力・デザイン性向上のための「技術コンクール」や、ランドセル普及促進など多彩な事業を展開しています。2016年は、協会創立130周年を迎える記念の年です。



信頼のマークPRキャンペーン
会場：阪急西宮ガーデンズ
主催：一般社団法人日本鞆協会
撮影：大阪鞆協会事務局

大阪農林会館 28

南船場3丁目2-6

建物の概要
地上5階・地下1階 鉄筋コンクリート造
竣工：1930年

1930年に旧三菱商事大阪支店として建てられ、戦後、農林省関西砂糖部等となり、株式会社大阪農林会館として登記、1972年に会館と名のつく貸しビル業となりました。現在は、レストラン・自転車・高級輸入家具・ブティック・楽器・クラフトなどの商店店舗、ファッションメーカーや写真アトリエなどのテナントが入居し、クラシックな佇まいにも惹かれて、多くの人が訪れます。商業ビル化によるレトロビルの「動態保存」の先駆けといえます。



雑貨・クラフトなど店名プレートが並ぶ



角地を強調した外観



クラシック感たっぷりのエントランスホール



多彩な入居テナント

大阪取引所 29

中央区北浜1丁目8-16

経済の中心として大阪経済を支えてきた大阪証券取引所が、2011年に東京証券取引所と合併、日本取引所グループ（JPX）が発足しました。現在は、商号を「大阪取引所」に変更し、日経平均先物・オプションをはじめとした日本のデリバティブ（金融派生商品）取引の中心地となっています。また、近年は、新商品の充実や夜間取引（16:30～翌5:30）にも力を入れており、昼夜を問わず世界中から多くの投資家参加するマーケットとなっています。

建物の概要
設計：三菱地所設計 日建設計 床面積：地上24階・地下2階 延床53,932㎡
構造：鉄骨造・一部鉄筋コンクリート造 竣工：2004年11月
旧市場館の円形のエントランスの外壁が残されている。

大阪取引所のあゆみ

世界最初の先物取引所「堂島米会所」

1730年 幕府から「堂島米会所」として公許される
これが世界で最初の組織化された先物取引所と言われている

五代友厚らにより「大阪株式取引所」設立

1878年 「金相場会所」の跡に大阪株式取引所設立
1935年 市場館が竣工（設計は長谷部竹越建築事務所）
1945年 終戦に伴い立会停止

戦後は「大阪証券取引所」に

1949年 大阪証券取引所設立
株式売買を再開
1988年 日経平均株価（日経225）
先物市場を開設
1999年 取引がコンピューターによる完全自動化、立会場廃止
2001年 大阪証券取引所を株式会社組織変更

2004年 旧市場館を建替、大阪証券取引所ビルに
2006年 個人向けの先物商品「日経225mini」を開始
2007年 夜間取引を開始
2013年 東京証券取引所と経営統合、日本取引所グループの一員となる
2014年 東京証券取引所のデリバティブ部門を統合し大阪取引所に商号変更
2016年 取引システムを刷新、夜間取引の拡大
及び東証マザーズ指数先物等4商品を上場



市場館

施設の案内

ロビーにはアトリウムビジョン

1階ロビーには株式、先物・オプションの市況情報をリアルタイムに表示する関西最大級のビジョンがあります。また、ロビーでは新年に大発会が開催され、大阪独特の手打ち「大株締め」が行われます。

OSEギャラリーが2015年2月にオープン

株式、先物・オプションの学びの場として、2015年2月にオープン。創設期の記録などの史料や大阪取引所、デリバティブを紹介する展示、取引体験のシミュレーター、セミナー室があり見学者に対応しています。

展示品

「株式取引所設立趣意書」や「大阪株式取引所の創立株主人名姓名便覧」の展示があり、五代友厚や廣岡信五郎の名前を見つけることができます。

五代友厚像

エントランス前に立つ五代友厚の銅像は、現大阪証券取引所ビルが完成した2004年に建立されました。“五代さま”人気もあり、多くの方が訪れる観光スポットとなっています。

見学

見学は無料です。
月曜日～金曜日（休業日は除く） 9時～16時30分
団体見学も可能（要予約）。

OSEギャラリー 検索

地域集会施設

子育て、高齢者福祉、環境・美化、防災・防犯などの様々な分野において地域住民組織はじめ、市民活動団体があり、これらが連携して、コミュニティづくりやまちづくりに取り組んでいます。そして、その活動の拠点になっているのが地域集会施設です。船場には、愛日会館、集英集会所、南船場会館の3つの会館があります。

愛日会館 30

中央区本町4丁目7-11

Tel. 06-6264-4103
愛日・船場・久宝地区の3連合振興町会の区域

集英集会所 31

中央区本町1丁目4-5

大阪産業創造館15階

Tel. 06-4964-2466

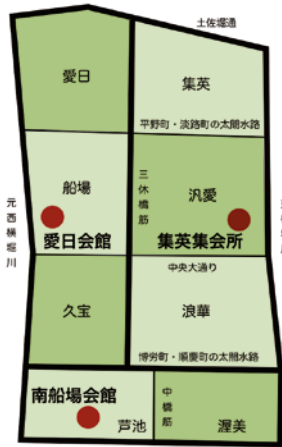
集英・汎愛・浪華地区の3連合振興町会の区域

南船場会館 32

中央区南船場3丁目7-12

Tel. 06-6241-1008

渥美・芦池地区の2連合振興町会の区域



地域集会施設の位置

地域活動協議会

以下のような地域の様々な分野において活動する地域住民組織、市民活動団体の自律的な地域運営を実現していくための仕組みが地域活動協議会です。

子育て支援

0歳児～未就学児と保護者を対象に、ミニミニコンサートや絵本の読み聞かせなど

高齢者支援活動

食事会やふれあい喫茶、介護予防教室や見守り相談、世代交流会・演芸鑑賞など

子供・青少年

親子で楽しむケーキ教室、料理教室、実験教室など

コミュニティ活動

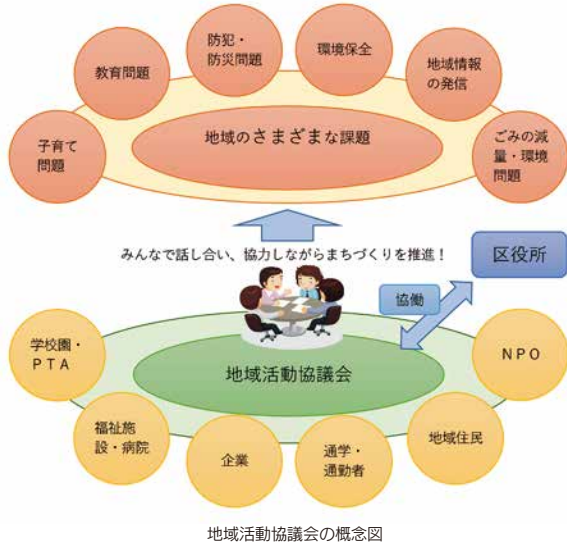
クリスマス会、新春食事会、餅つき大会、盆踊り、お花見会、夏祭りなど

文化・スポーツ活動

ラジオ体操、学校体育施設開放、南船場寄席など

防災・防犯・環境・美化

歳末防犯パトロール、町内巡回、防災訓練や街路、橋の清掃美化活動など



地域活動協議会の概念図



船場 MAP

1 ... 32

P2~P9
船場の会館

1 ... 18

P13~P14
船場のおすすめ

- 公園・神社等
- ホテル
- 商店街



船場の位置

船場は、キタとミナミの真ん中に位置して、北は土佐堀川、東は東横堀川、南は長堀通、西は旧西横堀川(現阪神高速道路)に囲まれた南北2.1km、東西1.1kmの約230haの区域です。

船場の近代建築

- 三井住友銀行大阪本店ビル
- 石原ビルディング
- 三共商事
- 吉田理容所
- 北浜レトロビルディング
- 大阪倶楽部
- 日本生命保険相互会社 本館
- 大阪市立愛珠幼稚園
- 適塾
- 中村健法律事務所
- 新井ビル
- 岡二証券
- アンティカ・オステリア・ダル・ボンビエーレ(旧中央消防署今橋出張所)
- 高麗橋野村ビルディング
- 三井住友銀行大阪中央支店
- オペラ・ドメーナ高麗橋(旧大阪教育生命保険ビル)
- 日本基督教団浪花教会
- 銭高組分室(旧小西平兵衛邸)
- 芝川ビル
- 伏見ビル
- 青山ビル
- 少彦名神社
- コニシ株式会社(旧小西儀助商店)
- 大阪ガスビル
- 北野家住宅
- 武田道修町ビル
- 小川香料
- 生駒ビルディング
- 三栄源エフエフアイ
- 清水猛商店
- 船場ビルディング
- 興和淡心ビル(旧板谷歯科医院)
- 岸本瓦町邸
- 綿業会館
- ハウザー堺筋本町駅前ビル(旧東海銀行船場支店)
- 早稲田屋ビル
- 明治屋ビル
- 三木楽器開成館
- クツワ文具店
- 田中ビル(田中眼科)
- 堺筋倶楽部(旧川崎貯蓄銀行大阪支店)
- 大阪農林会館
- 原田産業

船場人の通う店

味にうるさいだんさんと、腕に自信のある料理人の真剣勝負の一瞬が日々くりひろげられてきたまち・船場。時代が変わっても、船場に住み、仕事をする「船場人」たちによる、「旨いモンを身近で味わう」暮らしは受け継がれています。ちょっとそこまで、美味しいものを気軽に味わう、という極上の幸福感をおすそわけしてもらいましょう。

一度行けば好きになる 気軽に通えるお店たち

G.Baccano イタリアン ①

平野町2-6-11 06-6223-0008

気軽に美味しいイタリアンを楽しめる。店長ノブさんがきさくで楽しいので女性一人でも通いやすい。サルシッチャのグリルがおすすめ。

昼11:30～14:00 夜18:00～24:00
日祝休み
http://www.g-baccano.com/



islablu (イスラブル) 鉄板&ラムバー ②

瓦町1-4-7 06-6222-0069

能勢野菜を使った料理が美味しい。ラム酒が豊富で、接客担当チーボーが好みに合わせて選んでくれる。遅くまで営業しているので最後の一軒としての利用も。

18:00～翌3:00 日祝休み
http://www.islablu-rum.com/



旬彩処 典 和食 ③

淡路町1-6-6 女将小町1F 090-5244-1062

お造りがすべて絶品。日本酒の種類も豊富で、好みを言えば料理に合わせてマスターが選んでくれる。日曜日もやっているのが大変ありがたい存在。昼(平日のみ) 11:30～14:00 夜17:00～23:00 火休み

ラーメンマン ラーメン ④

平野町1-4-6 06-6231-8938

金曜深夜のみ居酒屋メニューあり。18年営業している信頼できる店。一番人気はラーメンマン。カレーラーメン&生卵はユニークな食べ方で一度試す価値あり。昼11:00～15:00 夜18:00～翌2:00 日休み

なかお 炭火焼鳥 ⑤

瓦町1-1-5 06-6222-1222

予約いっぱいの人気店だが日曜日の運めが穴場。料理はどれも丁寧な仕事が見え、たくさん食べても胃もたれなし。串だけでなく野菜や一品も是非! 17:00～翌1:00 水・第3火休み

美味しいお酒と 音楽に囲まれて・・・

バー酒音 (しゅおん) バー ⑥

北浜3- 2-16 06-7165-7833

隠れ家的な雰囲気のある大人のバー。料理は同じビルの1階にある割烹料理店で作ったものが出てくる。ほぼ毎晩ジャズライブもあるので要チェック。17:00～翌3:00 日休み



ライブ中の知念さん

ワイン食堂 重太家 イタリアンダイニング ⑦

道修町3-3-10大阪屋道修町ビル1F

06-6223-5959

ワンコインセットが人気。リクエストがあれば作るという漫画の「深夜食堂」を彷彿とさせるお店。店内のワインの約8割がピオワインというこだわりよう。

昼 月～金11:30～14:00
夜 月～木・土17:00～23:00
金・祝前日17:00～翌2:00
日祝休み



Café & Zakka風泉 (ふうせん) カフェ ⑧

本町4-5-10 長澤ビル2F 06-6262-6255

アンティークな家具に囲まれた空間で味わうランチ、夜ごはんとも総て手作り。月・火 昼11:30～15:00 夜17:00～20:00
水・木・金 11:30～22:00 土日祝休み
http://fu-sen.biz/

Ukulele Gallery / basis records オーディオ ⑨

(ウクレレギャラリー/ベイスレコーズ)

大手通3-3-6 本町橋ビルB1 06-6944-3877

レーベルオフィスにウクレレショップを併設、ハワイ直輸入のウクレレを展示販売。また、ピアノやパーカッションの個人レッスンも行っており、「おすすめ人」も通っています。13:00～20:00 月休み
https://www.basisrecords.com/

安心して通える 3つの“格”

福梅 うなぎ・割烹 ⑩

平野町2-6-1 06-6231-3815

創業79年。うなぎは2160円から。お昼にはうなぎ以外に、お弁当と定食(755円)があり、栄養バランスと量がちょうどいい。

昼11:30～14:00
夜17:00～21:00
日祝休み



むら雲 てっぱん割烹 ⑪

北浜3-3-14 06-6232-1239

2016年7月開店。繊細な和食と神戸牛をふんだんに味わえる、こだわりのお店。店舗は大正10年築の建物で、瓦屋根や壁などに昔の雰囲気が残る。

17:30～23:00 (土・祝は21:30まで)
日休み



海の幸 りき 海鮮小料理 ⑫

平野町4-2-4 06-6205-9007

御霊神社の前の路地に面するこじんまりとしたお店。お昼は800円の海鮮丼や定食があり、夜も気軽に行ける。おかみさんがきさくで雰囲気がいい。

昼11:30～14:00
夜17:00～23:00
土日祝休み

彩蔵 (さくら) 海鮮料理 ⑬

淡路町2-2-2 06-6223-7884

お昼は750円均一で焼魚定食屋さしみ定食など。お昼時は同じ顔ぶれをよく見かけるので常連客が多い印象。夜もレディースセットなど工夫を凝らしている。

昼(平日のみ) 11:00～14:30
夜17:30～23:00
日祝休み

南船場で日常使いできる 食道楽

浪花の焼き鳥屋 藤三 (とーさん) 焼鳥 ⑭

東心斎橋1-9-19 06-6245-1080

伊勢の赤鶏を使った塩で食べるねぎまは新鮮で絶品。店内はユニークなロックのレコードジャケット。ポップ・ディランを聞きながら、焼き鳥を大阪の日本酒春鹿で味わってほしい。18:00～翌1:00 日祝休み



洋食katsui 洋食 ⑮

東心斎橋1-2-17 第一住建東心斎橋ビル1F

06-6252-7014

気取らない洋食家さん、ここの接客は抜群。ワインを1本、お肉のあとの締めのカレーが美味しい。

火～木17:00～23:00
金・土11:30～15:00・17:00～23:00 日11:30～22:00
祝11:30～15:00・17:00～22:00 月休み
http://www.99katsui.sakura.ne.jp



辛激屋 カレー ⑯ 南船場2-5-21

カウンターだけのカレー屋さん。チキンカレーに、アーモンド油を2～3さじ入れるとまろやかに。ルーが余れば、少しご飯もたてくれる心使い。ときどき、無性に食べに行きたくなる味。

11:00～19:00 (水のみ～17:00)

十代橋 和食 ⑰ 南船場2-7-20 06-6262-7255

昼も夜も賑やかで両方良い。大正生まれのthe・ピーナッツ、双子のおかあさんが面倒を見てくれる下町気質の気軽で暖かいお店。厚切りのしめ鯖が絶品。鍋も注文で楽しめる。

昼11:30～14:00 夜18:00～23:00 土、日、祝日休み

やまもと食堂 居酒屋 ⑱ 博労町2-3-3 090-4274-1081

脱サラの店長さん、なかなかの腕前。毎日、天満市場に買い出し。夜の定食はありがたい。時々、リノベーションしたしもた屋の2階で、応援する歌手のワンマンライブを開催。

昼11:30～14:00 夜17:30～23:00 土日祝休み



わたしがおすすめします

永井一弘さん 麻生子さん

瓦町にあるタワーマンション在住。ご主人は淡路町でおあしず総合法律事務所を開業。奥様は翻訳家として活躍。船場界隈になじみのお店をたくさん持つ。



▶ 船場との関わり

「13年前、事務所の近くに住もうと引っ越してきました。飲食店で同じマンションの方と知り合い、同時期にマンション理事会に入ったり、旅行やホームパーティをしたり、家族ぐるみの交流が生まれました。また、複数のお店・常連仲間、キタハママファミリアというグループをつくりイベント開催などもしています。」

▶ 船場への想い

「新旧入り交じり、落ち着くけれど刺激的なまちです。近代的なビルのすべそばで、昔ながらのお菓子屋が残っていたり。また、住民も飲食店の人も気さくな人が多く、昔の「町内」感覚で暮らせるのが気に入っています。素敵な建物がたくさんあるので、住民以外にもっと知って欲しいです。」

▶ おすすめポイント

「一人でも気軽に入りやすい店が多いですね。お店同士仲が良く、ひとつのお店に入ると周辺のおすすめを教えてください。次から次へ行きたいお店が増えていきます。」

わたしがおすすめします

知念くにこさん

フロネシス・マネジメント主宰。大阪生まれ。コンサルタントとして企業や団体向けにコミュニケーションスキル等の研修を行う。現在の事務所は瓦町。



▶ 船場との関わり

「道修町や瓦町など船場を拠点に仕事をするようになり20年近くになります。その間、ランチや友人たちとの夜の会食などで船場にあるいろんなお店を訪れました。また、オフタイムには音楽を聴いたり自ら歌ったり。ジャズが大好きで船場にあるバーでライブを行うこともあります。」

▶ 船場への想い

「一時期、船場を離れたこともあったのですが、再び戻ってみるとビジネスに集中できる基本的なインフラがあり、仕事モードに自然に入っていける街だと実感しました。書店にはビジネスマン向けの書籍が並び、平積みからトレンドを垣間見ることができる。そんな場所が近くにあるのがいいですね。お客さまとの距離が近いことも魅力です。」

▶ おすすめポイント

「仕事の後は、美味しいお酒と料理でリフレッシュしたいです。また、ライブにいらっしゃった方が、音楽と共にお酒や料理を楽しんでいただけたら嬉しいです。」

わたしがおすすめします

宿谷良一さん

船場で1896年に創業し、2016年に120周年を迎えた株式会社ヤラカス館勤務。三休橋筋商業協同組合・三休橋筋発展会の幹事でもある。



▶ 船場との関わり

「昭和44年に入社以来、47年間船場で働いています。でも地域と関わるようになったのはほんの10年ほど前から。三休橋筋の再整備に際して、弊社の会長が沿道にある民間企業の代表として集まりに出席したことがきっかけです。そのとき、ガス灯のある道になればいいな、と提案したことが実現しました。」

▶ 船場への想い

「船場は、知れば知るほど奥が深いと感じます。三休橋筋が再整備され、ここ数年、おしゃれな新しいお店が増えてきました。街路樹の梅檀の木がもっと育ってグリーンのトンネルになるのを楽しみにしています。その中をみんなに歩いてもらいたい。三休橋筋の良さをもっと知ってもらいたいですね。」

▶ おすすめポイント

「店のしつらえ、品(料理)、人(店主)の、それぞれの“格”がバランスよく整っていると感じます。安心して通うことができるお店がいいですね。」

わたしがおすすめします

高梨日出夫さん

都市プランナーとして大阪で30年近く活躍。2015年まで南船場に居住。(社)水都大阪パートナーズで水都大阪の活性化に取り組む。



▶ 船場との関わり

「9年前、船場の博労町から南船場2丁目に転居。某有名設計家によるSOHOで、かれこれ8年お世話になりました。転居当時にちょうど開店した飲食店に通うようになりました。船場の地は食のインキュベーション。楽しい会話がある店も多いです。天満に転居後も、紹介した店には時々出かけて、楽しい時間を過ごしています。」

▶ 船場への想い

「船場ライフスタイルは、仕事にも居住にも便利です。でも残念なことに、最近インバウンド等で騒がしく、少し住みづらくなりました。引っ越した後、次の入居者が民泊等でトラブル起こしたとか聞いております。」

▶ おすすめポイント

「仕事するにしても、住むにしても中々、魅力一杯です。カウンターで対面する素敵な飲食、衣料等のお店もいっぱい。カウンター越しに会話のあるお店が好きです。プラス素敵な音楽も。そんなお店を船場が育てています。」

船場のまちに「案内板」がお目見え

2016年3月、初めて船場に「まちの案内板」がお目見えました。
1つは内北浜通の適塾前に、もう1つは今橋通りの3丁目です。



除幕式

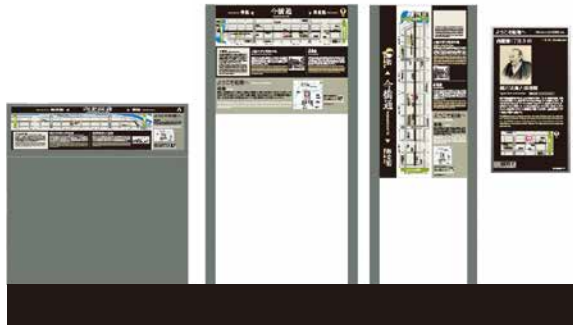
今、北船場の一部では、大阪市による歩道拡幅整備と無電柱化の工事が進んでいます。これにあわせて、まず2基の案内板が、関西電力の地上設備機の一部に取り付けられました。大阪市が提案し、地域の人たちが考え、デザインしてできあがった官民協働の案内板です。今後の維持管理も地域で行います。



案内板

企業も案内板づくりに参加しませんか

今後は大阪市だけでなく、「船場倶楽部」や地域の企業などが協力して、いろんな案内板を増やしていく計画です。船場を観光で訪れる人だけでなく、住む人、働く人、遊ぶ人にも役立つ案内板を目指します。「船場ナビ」ともネットワークしています。



船場案内板のイメージ

「船場倶楽部」が始動

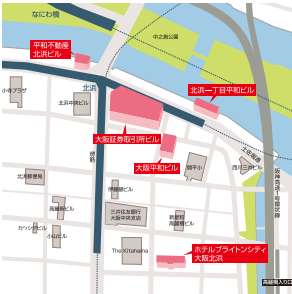
この案内板づくりをきっかけに、地元「船場倶楽部」というまちづくり組織が立ち上がりました。「船場倶楽部」は、地域の案内板づくりの協力支援を行うとともに、船場全体に共通する課題を取り上げ、地域のことは地域で考え、地域の皆で解決していくという趣旨で活動を開始しています。

船場の企業CSR

「証券金融のまち北浜の活性化」に取り組む平和不動産株式会社と「障害者がいきいきと働ける環境づくり」を目指す株式会社パソナハートフルの企業CSRを紹介します。

人の集う北浜のまちづくりに取り組む平和不動産株式会社 北浜を舞台にした地域活性化活動

2004年の大阪証券取引所ビルの建て替えを皮切りに、ホテルプライトンシティ大阪北浜、The Kitahama Tower & Plaza、平和不動産北浜ビル、北浜一丁目平和ビルとオフィス・店舗・ホテル・マンションの開発を続け、北浜のまちの活性化に取り組んできました。



北浜のシンボル 大証ビルアトリウムでイベント

大阪証券取引所ビルの建て替えにおいては、旧市館の一部を復元的に残すことで、金融のまちである北浜の象徴を後世に伝えていきます。その歴史を感じながら1階アトリウムでは、大発表や大納会をはじめ、「大阪クラシック」などさまざまなイベントをおこなっています。



大証ビルアトリウム

“才能に障害はない” 一人ひとりが才能を活かしながら、 いきいきと働く株式会社パソナハートフル アーティスト社員による作品を展示 「アートギャラリー」

パソナグループの特例子会社である株式会社パソナハートフルは、「才能に障害はない」をコンセプトに1992年より就労が困難な障害者の“アート”（芸術活動）による就労機会の拡大に取り組んでいます。絵を描くことを業務とする「アーティスト社員」を育成し、アーティスト社員が独自の感性で描く、季節やテーマに合わせた作品をギャラリーで展示しています。



アートギャラリー

開館日：月曜～金曜日
(祝・年末年始など会社の休日除く)
時間：午前9時～午後5時半
入場料：無料

手作りのオリジナル商品を販売「アート村 Shop」

障害のあるメンバーが工房で一つひとつ手作りのサシェやプリザーブドフラワーなどの商品を販売しています。季節に合わせたオリジナル商品やギフトセットなどもご用意しています。

アート村工房の商品約300点は「アート村Online Shop」
www.pasona-heartful.co.jp/art-mura/
でもご購入いただけます。



アート村SHOP

障害者雇用のノウハウを活かして 企業向けコンサルティングを実施

2018年の精神障害者雇用義務化を前に、企業の障害者採用ニーズが高まっています。パソナハートフルでは、これまでの障害者雇用のノウハウを活かし、採用前の理解啓蒙セミナーから、採用後の定着支援サポートまで、コンサルティングサービスを通じ、企業の障害者雇用に関する課題解決を支援しています。



企業向けコンサルティング

船場イベントカレンダー

船場では、神社の行事・祭りのほか、まちをにぎわす様々なイベントが開催されています。「船場イベントカレンダー」で情報をチェックして、船場を堪能してみませんか。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
御堂筋イルミネーション				御堂筋そぞろ歩きアート展				大阪クラシック 御堂筋オースタムギャラリー 御堂筋イルミネーション	船場まつり 船場大感謝市、船場deオペラ 講談と講演の会 他	御堂筋イルミネーション	船場センタービル ウィンターセール
			フェスタアート大阪		e-よこ道運			船場アートフェスティバル	船場を遊ぶ		
				御霊神社茅輪くぐり 御霊神社夏祭				北御堂盆踊り	生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪		
				北船場茶論		難波神社夏祭		南御堂盆踊り	船場への回帰		
				坐摩神社茅輪くぐり 坐摩神社夏祭・大阪せとの祭					まちデコール		
									南船場フォトウォーク		
									大阪マラソン		

定期開催されている主なイベント

御堂筋サイクルピクニック | 春・秋 まち歩きツアー | 随時 船場今橋・大美落語会 | 年4回
大阪ぐりぐりマルシェ | 毎月第2土 大阪マルシェほんまもん | 毎週水 ミディ・マルシェ | 不定期・月1回 駅うえマルシェ | 毎週水・木・第2、4土
相愛大学付属音楽教室コンサート | 春・夏 日本テレマン協会マンスリーコンサート | 毎月1回

秋はイベントをきっかけに船場を巡ろう

遊船場を

9月14日(水)～11月23日(水祝)

「大大阪時代」の中心といえる船場で、その時代の人々に深く愛され育まれてきた古典芸能と、当時を象徴する近代建築をより身近に、心地よく楽しんで頂くイベントです。今年は五代友厚をメインテーマに開催します！

船場を遊ぶ2016 検索

主催：大阪市中央区役所

船場まつり

10月7日(金)・8日(土)・9日(日)

「船場」地域あがりの秋のイベント。船場センタービル、せんば心斎橋筋商店街、坐摩神社・難波神社・御霊神社・南御堂等において約60のイベントを開催します。

船場まつり2016 検索

主催：船場まつり推進協議会・船場げんきの会

御堂筋オースタムギャラリー2016

御堂筋オースタムギャラリー

10月1日(土)～11月20日(日)

御堂筋の沿道で、オープンカフェをはじめ回遊して楽しめるイベントを開催。まちかどコンサートやバザーなどで盛り上がりま

御堂筋オースタムギャラリー 検索

主催：御堂筋まちづくりネットワーク

せんば鎮守の杜芸術祭・音楽祭2016

12時～音楽祭 18時～芸術祭

夜の芸術祭はオペラとバレエのかがり火コンサート「ヘンゼルとグレーテル」、昼は音楽団体・若手オペラ歌手の音楽祭です。

船場deオペラ 検索

会場：坐摩神社
主催：せんば鎮守の杜芸術祭実行委員会

船場減災展(第6回)

11月8日(火)・11月28日(月)

8日はBCM模擬訓練、本町地下歩き「減災力マップ」充実
28日はシンボ：BCMとまちづくり(展示：地下水害の予測と対策)を開催します。

船場減災展 検索

主催：船場減災展実行委員会

船場アートフェスティバル

船場アートフェスティバル

11月12日(土) ※メインイベント開催日

11月12日(土) 綿業会館でのイベントを中心としつつ、10～11月の期間中、御堂筋沿いや船場の近代建築(芝川ビル)で音楽イベントを開催。

船場アートフェスティバル 検索

主催：船場アートフェスティバル実行委員会

船場まつり 講談と講演の会

10月8日(土) 13時半～16時

船場まつりの協賛イベントとして、綿業会館で毎年開催している淀屋研究会の恒例行事。400年前にタイムスリップして気楽にお楽しみください。

淀屋研究会 検索

会場：綿業会館新館7階大会場
主催：淀屋研究会

神農祭(例大祭)

11月22日(火)・11月23日(水・祝)

道修町一帯に屋台が並びます。

少彦神社 検索

会場・主催：少彦神社

2016 船場博覧会

11月17日(木)～23日(水祝)

船場の地域資源を活用してまちの歴史と文化を発信。写真展や各種セミナー、普段は入れない近代建築を会場にしたイベントなど、多彩なプログラムを催します。

船場博覧会2016 検索

主催：船場博覧会実行委員会

生きた建築ミュージアム大阪

11月5日(土)・6日(日)

「生きた建築」を通して、いつもとは一味違った大阪を感じていただく日本最大級の建築一斉特別公開イベント。普段はめったに入ることのできない建物の内部公開を船場や中之島などで実施。

イクフェス2016 検索

主催：生きた建築ミュージアム大阪実行委員会

船場への回帰―「まちダネ」取材を通じて

10月7日(金) 18時半～20時半

朝日新聞大塚伸之記者による連載記事を通じて「船場への回帰」を披露。取材で知り合った人々と「船場を元気な街にするには」を語る。

船場まつり2016 検索

会場：綿業会館本館7階大会場
主催：船場まつり推進協議会・船場げんきの会・船場倶楽部

船場ナビ

船場の情報をまとめて発信する「船場ナビ」

イベントやエリア情報などを集約したポータルサイトです。

船場ナビ 検索

春夏秋冬折々の旬の味わいを、より深く、より美しく、研ぎ澄まされた感性と器に盛って、心からおくつろぎ頂けるようおもてないたします。

日本料理 吉北

電話 06-6231-1937
住所 中央区高麗橋2-6-7

創業天保十二年
吉野 煮
船場 淡路町

創業は天保十二年(1841)旅館屋をしていた吉野屋嘉助が、すし屋を始めたのが始まりで、以来百七十余年にわたり大阪寿司の伝統を守り続けております。

営業時間 9時～21時 土・日曜・祝休
電話 06-6231-7181
住所 中央区淡路町3-4-14

大山鶏の水炊き・焼鳥。
ご宴会には、コース料理や2階個室をどうぞ。

営業時間 昼 11時半～14時LO
夜 17時～23時LO 祝日休

電話 06-6282-7547
住所 中央区淡路町3-1-1

健美宴

てっぱん割烹 むら雲

心安らぐ空間と繊細な和食
鉄板で焼く極上の「神戸牛」を心ゆくまで味わっていただけます。

営業時間 平日17時半～23時半 (LO 22時)
土祝17時半～22時 (LO 20時半)
定休日 日曜
電話 06-6232-1239
住所 中央区北浜3-3-14

1F フレンチビストロ「ルドール」
12F イタリア料理「ラベデュータ」
12F セントレジスバー

イタリア料理「ラベデュータ」のスペシャルディナー

マウロ エクスペリエンス
～美食の旅へのご招待状～

世界各国でその料理の腕を磨いてきた、シェフ マウロ・ザヌッソが生み出すディナーコースをイタリアの田園地方にある別荘を彷彿させる雰囲気店内でお楽しみください。

料金：お1人様9,000円(税金・サービス料込み)
特典：イタリアワインを1組に1本プレゼント
利用期間：2016年10月7日～2016年11月30日
※予約状況によりご紹介できない日程がございますので予めご了承ください。
利用条件：ディナータイム限定17:30～22:00 (LO.21:30)

THE ST. REGIS OSAKA セントレジス ホテル 大阪
〒541-0053 大阪市中央区本町三丁目6番12号 お問い合わせ先: TEL 06-6258-3333 (代表)
www.stregisosaka.co.jp 地下鉄御堂筋線「本町駅」7番出口すぐ

ワンブロック・ビルとなって今年で50年、

南館竣工当時 1933年(昭和8年)
御堂筋清掃活動 1940年代～
ガスビルコンサート 1980年代～
ガスビル食堂 1933年～
御堂筋ふれあいバザー 1990年代～
御堂筋イルミネーション 2009年～
北館竣工 1966年(昭和41年)から50年

ガスビルは、今後も御堂筋の活性化に貢献します。

大阪ガス

中国料理
上海楼
シャンハイロウ

1960年、大阪淀屋橋近く道修町に創業し、近隣のビジネス街の皆様にご愛顧いただいております。主人のモットーは「無声呼人」。皆様に愛される店づくりを日々目指しています。

営業時間 月～金 11時～21時 土 11時～20時 日祝定休
電話 06-6201-5655 住所 道修町4-5-15

彩食館 門

昔ながらのカフェ居酒屋、チキン南蛮と夜限定の石焼きカレーは絶品です。2階は船場言葉のパネル展示をしており、各種会合等も承っております。

営業時間 10時～15時/17時～23時半
土日祝休
電話 06-6231-8509
住所 中央区道修町3-3-12

創業1888年
池田商店紳士服部 本町店

創業128周年を迎えた老舗の技術を生かし、最新のスタイリングのスーツをお求めやすい価格でご提供しております。

特別価格 国産生地使用仕上り 5万円～
舶来生地使用仕上り 7万円～

営業時間 月～金 10時～19時 土 10時～16時
日祝日・第2、第3土曜休 電話 06-6252-7758
住所 中央区久太郎町4-1-3
大阪センタービルB1 (旧伊藤忠ビルB1)

デザイン、アイデア、住まい方。

個性的な“家”の提案が、ここにあります。

大阪ガス住設の家
ogj.co.jp/house/

大阪ガス住宅設備株式会社
豊中モデルハウス
営業時間 10時～17時 定休日/火曜・水曜
電話 06-4865-9730
住所 豊中市北緑丘1丁目1-10

(株)シモジマ心斎橋店

包装資材や店舗用品、事務用品を卸価格で販売しております。さらに2%引きになるカードを無料で受け付け!!

営業時間 平日 9時半～19時半
日祝 10時～18時20分
定休日 不定休
電話 06-6252-4361
住所 中央区北久宝寺町3-3-8

この広告をレジにて係員にご提示くださったお客様に、お買上げ金額から5%OFF!! (期間中は何回でも有効。一部対象外商品有り、他サービスとの併用不可) 期間:2016/10/31まで有効

三木楽器株式会社
KAISEIKAN 開成館

1825年の創業以来、日本の音楽産業・音楽文化の発展を支えて参りました。アコースティックピアノ楽譜を取り揃え、ミュージック・エクセレント・カンパニーの道を歩み続けます。

営業時間 10時～19時
毎週水曜日休
電話 06-6252-1820
住所 北久宝寺町3-3-4

国登録有形文化財

伊藤園

自然が好きです。

株式会社伊藤園 難波支店
大阪市浪速区桜川3-4-9 06-6567-6055

THE KAITEKI COMPANY
三麗クミカルホールディングスグループ

目の前のために。
あなたのために。
世界のみんなのために。

田辺三菱製薬
http://www.mt-pharma.co.jp

船場げんきの会の活動

船場げんきの会とは

船場をこよなく愛するグループ(商店会、まちづくり団体、異業種交流会、NPO、研究会など)の集まりで、柔らかな連携を通して、より魅力ある船場のまちづくりを目指しています。
2014年、まちづくりの目標を「賑わい生活都心」と決めました。

設立: 2004年9月3日

会員: 25 グループ (2016年9月時点)

大阪船場井池筋連盟/大阪船場ロータリークラブ/環境デザインE.M.I.プロジェクト/関西ミュージックリンク協会/北船場くらぶ/協同組合大阪久宝寺町卸連盟/堺筋アメニティ・ソサエティ/三休橋筋愛好会/三休橋筋発展会/船場クリエイティブ・ポート推進協議会/船場経済倶楽部/船場研究体/船場三水区/せんば心斎橋筋協同組合/船場センタービル連盟/せんば鎮守の杜芸術祭プロジェクト/船場賑わいの会/太閤路地プロジェクト/東横堀川水辺再生協議会/御堂筋まちづくりネットワーク/南船場グローバル倶楽部/MORISEN/淀屋研究会/老舗学研究会/寄合びんご(25グループ順不同)

船場げんきの会 事務局

中央区船場中央2-1-4-411 Tel. 06-6263-6583
www.semba-genki.net



船場フォーラム

船場について語り合う場として2005年から毎年3月に開催しています。



船場まつり

船場の商店街、神社・寺院、連合振興町会を中心に、2009年から毎年10月に開催しています。



船場ガイドブック

2012年から毎年秋に発行し、イベント会場や船場の飲食店などで配布しています。



2012年 第1号 テーマ 「船場ミュージアム」
2013年 第2号 テーマ 「船場今昔」
2014年 第3号 テーマ 「船場のこころ」
2015年 第4号 テーマ 「船場に息づく芸能・文学」

船場アーカイブス

NEW 船場フォーラム 2016 で誕生しました!

船場の記憶を次の世代につなごう!
写真や地図など、船場に残るたくさんの「昔の記憶」と、将来、過去となる「今の記憶」を、船場のさまざまな団体と連携を図りながら収集・保存、公開し、未来に繋げていく活動をはじめました。

写真・地図など募集中

船場まち歩き隊

NEW 船場フォーラム 2016 で誕生しました!

もっと もっと 船場を知りたい! 知ってほしい!
船場ファンの私たちが、「私のオススメ」を歩いてご紹介する、人と人と顔を合わせ、語り合えるような「まち歩き」を企画・実施していきます。



参加者募集中



芦池小学校(昭和30年頃)



まち歩きの様子(愛珠幼稚園前)

今日からあなたも船場人 船場ガイドブック 2016



制作:
船場げんきの会 愛日地域活動協議会

編集会議:
青木由美子
川嶋みほ子
河村岳志
佐久本昇
谷口康彦
千葉桂司
塚村真美
日比哲夫
藤江直人
三谷直子
森山秀二
森吉裕志

デザイン:
河村岳志

「船場の会館」取材に協力いただいた方:
太田真一(株式会社大阪美術倶楽部)
大橋達夫(集英連合振興町会)
岡部敏明(株式会社大阪美術倶楽部)
岸本晴夫(一般社団法人大阪倶楽部)
木戸一夫(井池織維会館)
高津吉男(大阪砂糖問屋組合)
十川和夫(大阪靴協会)
手島隆太郎(大阪写真材料商業組合)
濱 太郎(有限会社大阪織維共同販売所)
橋口尚男(一般社団法人日本塗料工業会)
深澤恒夫(くすりの道修町資料館)
古田 彰(株式会社輸出織維会館)
古山勇次(大阪船場井池筋連盟)
横島昭彦(一般社団法人日本綿業倶楽部)
松崎郁子(協同組合大阪久宝寺町卸連盟)
矢田真博(株式会社日本取引所グループ)
大阪市中心区役所市民協働課
協同組合関西ファッション連合

この船場ガイドブック2016の制作にあたり
船場げんきの会が
公益財団法人東教育財団の地域文化事業助成
愛日地域活動協議会が
大阪市中心区地域振興活動補助金を受けています。